

II 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するために取るべき措置について	項目評価	A	評点	4.06
--	------	---	----	------

コメント	<p> 復興支援業務については、巡回支援者数、商品化支援件数等、年度計画の目標値を大幅に超えて達成したことは、積極的な取組みの結果であり高く評価する。引き続き企業の復興ステージに沿ったニーズへの対応を期待する。 </p> <p> 技術相談については、顧客満足度、相談解決度が高く、新規企業訪問数の目標を大幅に達成していることは評価できる。今後も引き続き気軽に相談できるサービス機関として、企業ニーズへの迅速な対応に努められたい。 </p> <p> 依頼試験等については、分析方法のマニュアル化や対応研究員の複数化によるサービス体制の強化等により、高い顧客満足度と依頼試験等件数の目標の超過達成は高く評価できる。今後も、企業等の利用促進に向けた取組を期待する。 </p> <p> 機器貸出については、外部資金活用による設備機器の導入や近隣公設試験場との連携等により目標を達成したことは評価できる。第3期中期計画では、より高い目標を掲げているので、その達成に向けた取組を期待する。 </p> <p> 県等公共団体からの受託研究については、研究ポテンシャルを十分にいかした実施状況にあると評価できる。 </p> <p> 競争的外部資金を活用した研究については、復興関連予算に伴う研究テーマの終了等、外的要因による影響がある中で競争的外部資金の獲得に向けた目標値を達成したことは評価できる。 </p> <p> 企業等との共同研究・受託研究については、企業との共同研究に関する顧客満足度の目標達成に加え、特に企業からの提供資金が倍増したことは評価できる。 </p> <p> 自主財源研究については、シーズ育成にきめ細かな予算配分措置を実施したことは評価できるが、競争的外部資金の獲得に発展しない研究であっても、県のニーズに応える良質な研究に対し、継続的に支援できる仕組みが望まれる。 </p> <p> 研究成果の事業化支援については、複数の部が共同して、企業等に有効な支援を行ったことは評価できる。 </p> <p> 講習会等開催については、企業等のニーズに対応した講習会の開催により、受講者満足度の目標は達成されており、引き続きニーズに沿った企画が望まれる。 </p> <p> 特許実施許諾、特許流通等については、企業等との共同出願件数の目標は達成したが、更なる事業化・市場化に向けた努力を期待する。 </p> <p> 技術者受入型開発支援については、外部から企業等の技術者を受け入れることによるメリットを踏まえ、継続して取り組まれることを期待する。 </p> <p> 研修生受入等については、インターンシップの受け入れは、センターの認知度向上にもつながるとともに、学校外での教育活動支援としても重要であり、今後もより積極的な働きかけを望む。 </p> <p> 講師・審査員等派遣については、関係機関・団体からの派遣要請に対して、適切に対応されている。 </p> <p> 情報の発信については、工業技術センターを利用したことのない方々や身近に感じたことのない世代に、より身近に感じてもらえるように情報発信の方法を含めて広報活動に一層の工夫が望まれる。 </p> <p> 情報の公開については、情報公開は十分に運用されているが、今後、HPにアクセスしていない層にいかにかアピールするか検討されたい。 </p>
------	---

小項目	評価	評点	コメント
復興支援業務	AA	4.67	巡回支援者数、商品化支援件数等、年度計画の目標値を大幅に超えて達成したことは、積極的な取組みの結果であり高く評価する。引き続き企業の復興ステージに沿ったニーズへの対応を期待する。
技術相談	A	4.50	顧客満足度、相談解決度が高く、新規企業訪問数の目標を大幅に達成していることは評価できる。今後も引き続き、気軽に相談できるサービス機関として、企業ニーズへの迅速な対応に努められたい。
依頼試験等	A	4.50	分析方法のマニュアル化や対応研究員の複数化によるサービス体制の強化等により、高い顧客満足度と依頼試験等件数の目標の超過達成は高く評価できる。今後も、企業等の利用促進に向けた取組を期待する。
機器貸出	A	4.00	外部資金活用による設備機器の導入や近隣公設試験場との連携等により目標を達成したことは評価できる。第3期中期計画では、より高い目標を掲げているので、その達成に向けた取組を期待する。
県等公共団体からの受託研究	A	4.00	研究ポテンシャルを十分にいかした実施状況にあると評価できる。
競争的外部資金を活用した研究	A	4.17	復興関連予算に伴う研究テーマの終了等、外的要因による影響がある中で競争的外部資金の獲得に向けた目標値を達成したことは評価できる。
企業等との共同研究・受託研究	A	4.50	企業との共同研究に関する顧客満足度の目標達成に加え、特に企業からの提供資金が倍増したことは評価できる。
自主財源研究	A	4.00	シーズ育成にきめ細かな予算配分措置を実施したことは評価できるが、競争的外部資金の獲得に発展しない研究であっても、県のニーズに応えうる良質な研究に対し、継続的に支援できる仕組みが望まれる。
研究成果の事業化支援	A	4.00	複数の部が共同して、企業等に有効な支援を行ったことは評価できる。
講習会等開催	A	4.00	企業等のニーズに対応した講習会の開催により、受講者満足度の目標は達成されており、引き続きニーズに沿った企画が望まれる。
特許実施許諾、特許流通等	A	4.00	企業等との共同出願件数の目標は達成したが、更なる事業化・市場化に向けた努力を期待する。
技術者受入型開発支援	A	4.00	外部から企業等の技術者を受け入れることによるメリットを踏まえ、継続して取り組まれることを期待する。
研修生受入等	A	4.17	インターンシップの受け入れは、センターの認知度向上にもつながるとともに、学校外での教育活動支援としても重要であり、今後もより積極的な働きかけを望む。
講師・審査員等派遣	A	4.00	関係機関・団体からの派遣要請に対して、適切に対応されている。
情報の発信	A	4.00	工業技術センターを利用したことのない方々や身近に感じたことのない世代に、より身近に感じてもらえるように情報発信の方法を含めて広報活動に一層の工夫が望まれる。
情報の公開	A	4.00	情報公開は十分に運用されているが、今後、HPにアクセスしていない層にいかにかアピールするか検討されたい。

Ⅲ 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するために取るべき措置について	項目評価	A	評点	3.86
--	------	---	----	------

コメント	<p>組織運営の改善については、連携機能強化を図るために連携推進コーディネーターを配置したことを評価する。組織体制の見直しは恒常的に行われるべきであり、見直しによる成果についても、今後検証していくことが望まれる。</p> <p>事務等の効率化・合理化において、超過勤務時間の増加については、その理由を分析の上、引き続き事務等の合理化・効率化が図られるよう努められたい。</p> <p>職員のモチベーション向上については、職員表彰の拡充により職員の意識高揚が図られていると感じられる。今後も、様々な取組により職員のモチベーション向上が図られるよう期待したい。</p> <p>職員の能力開発については、職員の意欲向上の一端とセンター運営側の意欲的な姿勢が、職員に対する満足度調査の回答率が100%という点に表れており評価できる。</p> <p>環境マネジメントについては、量的数値目標のみならず、質的な目標の検討を行い、引き続き安全で快適な職場環境の充実に努められたい。</p> <p>安全衛生マネジメントについては、研修の実施やヒヤリ・ハット事例の共有等により、労働災害及び交通事故ともに無事故を継続していること並びに健康診断の受診率100%は、高く評価できる。</p> <p>コンプライアンスは、職員の意識向上に関わるものであることから、その強化には継続した取組が求められる。発明普及事業の支援やインターンシップの受入といった社会貢献活動は、地域の教育活動支援として重要であり、より積極的に行われることを期待する。</p>
------	---

小項目	評価	評点	コメント
組織運営の改善	A	4.00	連携機能強化を図るために連携推進コーディネーターを配置したことを評価する。組織体制の見直しは恒常的に行われるべきであり、見直しによる成果についても、今後検証していくことが望まれる。
事務等の効率化・合理化	B	3.00	超過勤務時間の増加については、その理由を分析の上、引き続き事務等の合理化・効率化が図られるよう努められたい。
職員のモチベーション向上	A	4.00	職員表彰の拡充により職員の意識高揚が図られていると感じられる。今後も、様々な取組により職員のモチベーション向上が図られるよう期待したい。
職員の能力開発	A	4.00	職員の意欲向上の一端とセンター運営側の意欲的な姿勢が、職員に対する満足度調査の回答率が100%という点に表れており評価できる。
環境マネジメント	A	4.00	量的数値目標のみならず、質的な目標の検討を行い、引き続き安全で快適な職場環境の充実に努められたい。
安全衛生マネジメント	A	4.50	研修の実施やヒヤリ・ハット事例の共有等により、労働災害及び交通事故ともに無事故を継続していること並びに健康診断の受診率100%は、高く評価できる。
コンプライアンスの強化及び社会貢献活動の実施	A	4.17	コンプライアンスは、職員の意識向上に関わるものであることから、その強化には継続した取組が求められる。発明普及事業の支援やインターンシップの受入といった社会貢献活動は、地域の教育活動支援として重要であり、より積極的に行われることを期待する。

IV 予算、収支計画及び資金計画等に関する事項	項目評価	A	評点	4.00
-------------------------	------	---	----	------

コメント	<p>競争的外部資金その他の自己収入の確保については、自己収入財源となる事業の利用促進等の努力により自己収入が増加していることは評価できる。今後も職員のチャレンジ精神の強化に繋がる積極的な姿勢が望まれる。</p> <p>経費の抑制については、光熱水費の縮減や、業務管理コストの縮減等、経費抑制に努めている。</p> <p>事業の効率化については、業務経費も一般管理費も継続した効率化に努めている。</p>
------	--

小項目	評価	評点	コメント
競争的外部資金その他の自己収入の確保	A	4.17	自己収入財源となる事業の利用促進等の努力により自己収入が増加していることは評価できる。今後も職員のチャレンジ精神の強化に繋がる積極的な姿勢が望まれる。
経費の抑制	A	4.00	光熱水費の縮減や、業務管理コストの縮減等、経費抑制に努めている。
事業の効率化	A	4.00	業務経費も一般管理費も継続した効率化に努めている。

VIII その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項	項目評価	A	評点	4.00
-------------------------------	------	---	----	------

コメント	<p>施設・設備の整備に関する計画については、外部資金による機器導入が積極的になされている。</p> <p>人事に関して、OBの活用は今後とも重要であり、日常的な検討・対応が望まれる。</p>
------	--

小項目	評価	評点	コメント
施設・設備の整備に関する計画	A	4.00	外部資金による機器導入が積極的になされている。
人事に関する計画	A	4.00	OBの活用は今後とも重要であり、日常的な検討・対応が望まれる。

■総合評価

						加重 比率
各項目の評価	Ⅱ 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するために取るべき措置について	項目評価	A	評点	4	57%
	Ⅲ 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するために取るべき措置について	項目評価	A	評点	4	25%
	Ⅳ 財務内容の改善に関する事項	項目評価	A	評点	4	11%
	Ⅷ その他業務運営に関する重要事項	項目評価	A	評点	4	7%
		総合評価	A	評点	4.00	—

■総合評価コメント

コメントまとめ	<p>第2期中期計画の目標達成に向けて、平成27年度においても全体として着実に業務を進めている。特に復興支援業務と基幹業務である技術相談等の基本サービス分野の取組、さらに、競争的外部資金の獲得と安全衛生マネジメントには目覚ましい成果がある。</p> <p>岩手県の技術支援の拠点として、様々な企業等と積極的に連携しながら、技術発展やものづくり産業振興に貢献していることは高く評価できる。</p>
---------	---